



No.
89

文字

小

標準

大

検索

| ホーム | アクセス | お問い合わせ | プライバシーポリシー | サイトマップ |



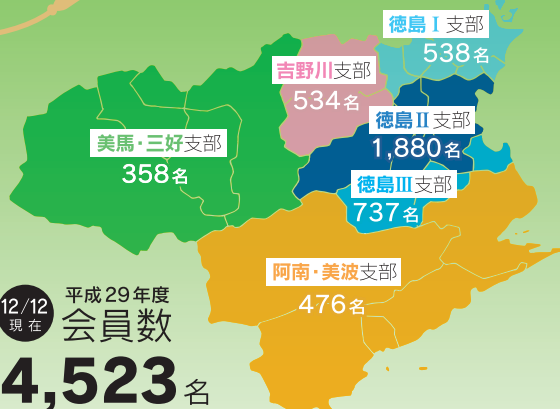
CONTENTS

会長挨拶	2
知事要望	2
平成29年度 叙勲・表彰	2
職能委員会活動報告	3
支部活動報告	4
キラキラ新人さん	6
ワークショップ開催	8
第35回徳島県看護学会	8
ナースセンターだより	9
ワンポイントアドバイスNo.33	9
火災や風水害等に遭われたとき	10
新規事業のご案内	10
平成30年度の継続について	10
編集後記	10



(スマートフォン対応)

12/12
現在
平成29年度
会員数
4,523名



Web 受講

協会ニュース「和」

日本看護協会

日本看護協会出版会

平成
30
年

年頭挨拶



会長

多田 敏子

皆様、あけましておめでとうございます。新しい年を、お健やかに迎えのものと存じます。日頃は、公益社団法人徳島県看護協会の活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

昨年は、スポーツ界や将棋の世界で若い世代の活躍が目撃されました。看護の世界におきましても、若い世代に看護職を選んでいただき、徳島の地で力を発揮していただくことを待ち望んでいます。

平成30年は、診療報酬や介護報酬が同時に改定され、新たな仕組みのもと、サービスが提供される年でもあります。徳島県看護協会としても、看護職の新たな役割獲得にもチャレンジし、行政、医療・介護職をはじめ地域の方々とも連携しながら、地域の皆様の「いのち、生活そして尊厳を守る」ことのできる事業を推進することを使命と考えております。

地域のニーズに応えられる看護サービスを提供できるよう看護職が力をつけること、看護職が能力を発揮できる環境を整えること等に重点を置いて、事業を進めたいと考えております。

また、今年は、日本看護学会—精神看護—学術集会を、7月19・20日に徳島（あわぎんホール）で開催します。精神看護を幅広くとらえ、あらゆる領域の看護に共通する課題を共に考えたいと思っています。皆様のご参加、ご発表を心よりお待ちしております。皆様と一緒に、新たな精神看護の情報を徳島から発信していきたいと思っています。

今年も、引き続き、多くの方に看護協会会員としてご協力頂き、事業を進めてまいりたいと思っていますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。そして、平和で心穏やかな年になりますよう、ご祈念申し上げます。

知事要望

公益社団法人
徳島県看護協会

- 1 地域包括ケアシステムにおける看護提供体制の推進
- 2 新未来社会のニーズに応え得る人材育成・確保・定着
- 3 看護職の労働環境の整備の推進



受章おめでとうございます

秋の叙勲

厚生労働大臣表彰

徳島県知事表彰



瑞宝単光章

森岡 圭子 様



優良看護職員

佐藤 ふさよ 様

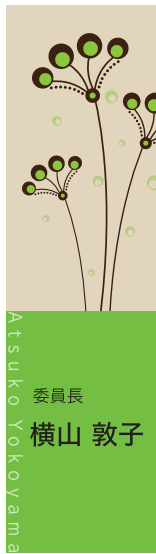


高齢者福祉功労者

麻野 信子 様

活動報告

保健師職能委員会

地域包括ケアシステム
構築に対応した
保健師のキャリア形成委員長
横山 敦子

現在、地域においては、複合的な課題を抱える人々やあらゆる健康状態の方々が住み慣れた地域で必要なサービスを一体的に受けながら、自分らしく生きることの出来る「地域包括ケアシステム」の構築が求められています。

そのためには、年齢や障がい・疾病管理など狭義の担当事業の実施にとどまることなく、保健・医療・福祉等の重なりを尊重した「地域に責任を持った」保健師活動を推進しなければなりません。

そこで、今年度は、管理期・中堅期保健師のキャリアアップのための研修会、新任保健師実地指導者研修会を開催しています。

また、3職能合同研修会や保健師・助産師合同研修会等により看護職間の連携にも取り組むとともに、「若手保健師ランチミーティング」「中堅期保健師ランチミーティング」も開催し、県内保健師の顔の見える関係づくりを目指しています。是非、皆様にご参加いただき、保健師のキャリア形成の推進を図っていきたいと考えています。

活動報告

助産師職能委員会

助産実践能力の強化と
質の向上を目指して委員長
上田 美香

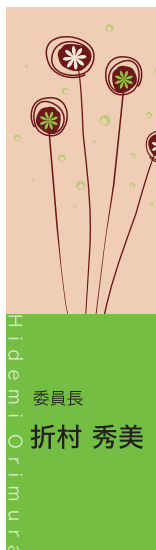
助産師職能委員会は、すべての妊産褥婦と新生児に助産師のケアを提供し、妊産褥婦と新生児及びその家族の健康な生活の実現に貢献するために、全国の助産師の力を結集し変革を続けることを基本理念としています。

平成27～28年度にCLOCMipレベルⅢの認証申請では自律して院内助産が実践できる能力が認証され、約1万人を超える『アドバンス助産師』が誕生しました。徳島県においても62人が認証を受けました。29年度もアドバンス助産師が実践能力を発揮できるよう院内助産・助産外来の開設を推進していきます。

徳島県助産師職能委員会では、妊娠期から子育て期までの切れ目のない看護・助産機能の強化に向けてメンタルヘルス研修を開催しました。日本メンタルヘルス学会理事として活躍されている新井陽子先生を講師にお招きし、周産期メンタルヘルスケアにおける助産師の役割についてお話して頂きました。周産期におこりやすい疾患、支援を必要とする母親に適切な支援を実施することの大切さを学ぶことができました。また、2018年1月には保健師さんとの災害に関する合同研修会を開催します。保健師さんと共に災害時における母子支援体制の整備を進めていきたいと考えていますので、ぜひご参加ください。

活動報告

看護師職能委員会

看護職を取り巻く社会
と制度の変化を実感委員長
折村 秀美

2025年を見据えた医療提供体制のあり方について議論が進められる中、看護職に求められる役割や機能の拡大が期待されています。看護師職能委員会では看護師職能Ⅰ（病院領域）と看護師職能Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅等領域）に活動の視点を分けて取り組みを進めています。看護師職能Ⅰでは看護師長への支援と多職種連携における看護の役割や協働の現状共有をテーマに、情報収集・課題発見に取り組んでいます。本県看護協会でも看護師の専門性を強化する研修として、平成29年9月16日にワンランクアップの接遇対応をテーマに「～患者さんにマイナス心理（誤解・副作用・クレーム等）を与えない対応の留意点～」を開催し、140名の方にご参加いただきました。看護師職能Ⅱでは住み慣れた場所で最期まで過ごすための支援に関して、地域の看取りで起きている様々な問題等の検討を進めています。本委員会では「看取り期での病院・施設・在宅等での医療・看護・介護のあり方、看護職の役割とは何か」をテーマに平成30年2月17日（土曜日）に交流会を企画しています。病院・施設・在宅における看護職の実践を踏まえた情報提供をして頂き、意見交換ができればと思います。皆さまのご参加お待ちしております。

支部活動報告

徳島支部Ⅰ

支部長 日野出 裕美

徳島支部Ⅰ（鳴門・板野地区）では、地域住民の健康増進・福祉の向上を図るために支部Ⅱと協同で、毎月第2・4土曜日に県立図書館において常設の「まちの保健室」を開催しています。

また、地域看護サービスとして、今年度は9月10日に北島町で開催された「チャリティfunランin サンフラワードーム」、10月15日に鳴門市で開催された「子どものまちフェスティバル」のイベントに参加し、『1日まちの保健室』や『ナースに変身コーナー』を設け、地域住民の方々や子ども達とのふれあいを通して、イベント事業の活動を行っています。

支部施設交流会においては参加施設も少しずつ増加し、看護協会の活動や研修等の情報提供、よりよい支部活動に向けての話し合い、施設間での情報交換等、顔の見える関係づくりを通して地域連携強化の場ともなっています。

看護の出前授業では、依頼を受けて看護職が地域の小・中学校に出向き、『いのちの大切さ』や『看護職の仕事』などのテーマで授業を行っています。今後も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



徳島支部Ⅱ

支部長 原 良江

日頃より支部活動にご支援ご協力を頂きありがとうございます。

徳島支部Ⅱは、徳島市、名西郡、佐那河内村と広範囲な地域を担当し、地域住民の健康増進・福祉の向上を図るために活動を行っています。

■常設「まちの保健室」を徳島県立図書館1階において、毎月第2・第4土曜日13時～16時に徳島支部Ⅰと協力し開催しています。

子どもからお年寄りまで、住民のだれもが性別・世代を問わず、出産・子育て・病気・心の健康・生活習慣病・介護など健康にかかわる気になることや心配ごとなど気軽に誰もが相談でき、気軽に立ち寄れる場所です。また、血圧測定、骨年齢測定、ストレス度チェック等も行っ



ています。

■イベント事業として「一日まちの保健室」を平成29年9月に実施しました。老人クラブの集会に出向き、風船で花や動物を作るバルーンアートを楽しんでいただき、血圧測定や健康相談もおこないました。地域住民の方々の健康づくりや地域活動への参加により、地域との連携を深めて行きたいと考えております。

■出前授業として中学校、高校等の生徒を対象に看護師・助産師が学校に出向き

講義を行います。講義内容は「命の大切さ」「看護の仕事について」「看護への道」など学校の希望する内容の講義を行っています。また、一次救命訓練の実技や学生同士での血圧測定などの実践もおこなっています。

私達は、地域住民一人一人の近くに看護職がいることで安心でき、健康にすごすことを共に考える活動を実践していきたいと取り組んでいます。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

徳島支部Ⅲ

支部長 松崎 和代

平成29年度の主な活動としては、まず、看護の日・看護週間事業として、5月11日（木）にショッピングセンター「ルピア」でイベント型の健康推進事業を行っています。

今年は①血圧測定、②体脂肪測定、③健康年齢測定、④骨密度測定などの健康チェックや健康相談と共に、ケアマネージャー・訪問看護師の協力を

得て、新しく在宅介護の相談を開催しました。延べ280名の方が参加され、地域の方々の健康への関心を高めると共に、活動への理解を深めていただき、「看護の心」を普及する機会となっています。

また、阿南・美波支部と協力して、常設「一日まちの保健室」を第2、4土曜日にショッピングプラザ「アピカ」



で開催しています。

10月には、がん看護の専門看護師や認定看護師が相談員として参加し、看護職の専門性を活かした

健康相談を実施しています。

今後も支部施設間の看護師の交流を図りながら、地域住民の健康増進・福祉の向上に努めていきたいと思っていますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



阿南・美波支部

支部長 千田 幸代

日頃より支部活動にご理解、ご支援いただきありがとうございます。

阿南・美波支部は阿南市、海部郡、那賀郡の地域を担当し、年間の事業計画に沿って地域に密着した活動を行っています。

支部活動の一つである“南部まちの保健室”を、徳島支部川と分担してアピカで開催しています。血压等の測定を行い、健康相談や薬剤師さんによる“お薬相談”ができるようになり、参加された方より好評を得ています。

また、阿南・美波支部の施設の方との交流を深めるために施設交流会を開催しています。1回目は7月7日に開催し、参加された施設の人との関わ

りを通していろいろな情報共有することができました。第2回施設交流会も11月に開催を予定しています。

イベント事業として、9月3日に“春日野ふれあいクラブ健康まつり”で“まちの保健室”を開催しました。昨年開催し好評だったため、今年もお声をかけて頂き、50名に利用して頂きました。また、11月19日に美波町で開催される食博覧会で“まちの保健室”を開催する予定にしています。

今後も地域に根差した活動を展開していきたいと考えています。どうぞご協力程、よろしくお願いいたします。



日頃より、吉野川支部の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。吉野川支部は吉野川市と阿波市を担当しています。本年も支部活動を通して、地域住民の健康増進・福祉の向上に努めるために事業計画に沿って活動を行っています。

施設交流会は3回/年開催し、施設間の情報交換や交流を深めています。常設「まちの保健室」は本年8月よりキョーエイ共進店入口へ移転して健康相談や健康チェックを行っています。来年度より貞光ゆう



ゆう館へ移設予定です。

イベントとしては、11月5日に阿波市「アエルワ」で「1日まちの保健室」を開催し、健康、栄養、糖尿病、訪問看護等の相談コーナーを設置し、体脂肪、骨密度、血压等の測定を行いました。また、11月25日には吉野川医療センターで高校生を対象に「命の大切さを学ぼう」のテーマで思春期講座を開催の予定です。

出前授業は地域の小学校や中学校、高校で「手洗い」「命の大切さ」「性教育」などの授業を学校の依頼に基づ



いて行っています。

今後も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

吉野川支部

支部長 三木 真澄

美馬・三好支部では、地域住民の健康増進・福祉の向上を図るために、地域に密着した事業の提供を行っています。

施設交流会は、年に3回開催しており、各施設から参加し、イベントの開催計画や情報交換を行うなど意見交換の場となっております。

常設「まちの保健室」は、血压・体脂肪測定、健康相談を実施しています。今年度より認定看護師が相談ボランティアとして参加し、色々な相談を受けさせていただ

いています。また、「三好市ふれあい市民フェスタ」に参加し、ささえ合うネットワークづくりをめざし、健康相談を実施しました。

各高校の文化祭では、保健展にて、看護コーナーを設け、進路相談や、血压測定の体験を通して看護師の仕事について考える場となり好評でした。また、出前授業として、依頼のあった中

学生に「いのちの大切さ」について、授業を行い子供達とふれあう有意義な時間が持てました。

今後も、専門職として、地域住民の方々の健康づくりに貢献したいと思っておりますのでご協力よろしくお願いいたします。



美馬・三好支部

支部長 美馬 敦美



私の宝物

徳島大学病院

助産師 藤野 芙美子



助産師として働き始め、半年が経ちました。反省することが多い毎日ですが、充実した新人教育と、尊敬できる先輩方のサポートのもと、学びながら楽しく働いています。担当させていただいた10件のお産はどれも私にとって宝物で、新しい命が誕生する瞬間は今も鳥肌が立ち、産婦さんと赤ちゃんの強さに圧倒されます。これからも、産婦さん・赤ちゃん・ご家族にとって出産がさらに素敵な思い出になるよう全力でサポートしていきたいです！

感謝の気持ちを
忘れずに

徳島県立中央病院

助産師 土井 菜津実



私は現在、助産師として主に褥婦や新生児、婦人科疾患の患者さんと関わらせていただいています。その中で、1人ひとりに合ったケアを行うことの難しさや自分の知識・技術不足、責任感の重さを実感しています。就職して半年が過ぎ、まだまだ慣れないことや不安もありますが、患者さんとの関わりや先輩方のサポートに支えられ日々頑張ることができています。今後も、感謝の気持ちを忘れず、思いやりのある丁寧なケアを心がけてがんばっていききたいです。

患者さんに安心を

徳島大学病院

看護師 黒島 志津佳



働き出して5か月が経ちました。学生の頃から目指していたオペナースになる事ができ、勉強の毎日ではありますが、少しずつ一人で行える業務が増え、充実した日々を送ることができています。オペナースは手術がスムーズに終わる事が出来るよう手術介助を行うだけでなく、患者さんに少しでも安心して手術を受けていただけるように、担当する患者さんの術前・術後訪問も行っています。大変なこともたくさんありますが同期で助け合いながら日々頑張っています。

寄り添う看護

徳島市民病院

看護師 池内 千智



小学生の頃、祖父が入院した際不安でいっぱいだった私に、優しく寄り添ってくれた看護師と出会いました。その事がきっかけで「思いやりのある看護師になりたい」と志しました。しかし実際は、日々の業務を覚えるのに必死で、患者さん一人ひとりと向き合えていませんでした。それでも患者さんの笑顔や「ありがとう」と声をかけてくださった時はとても嬉しく、同時にやりがいを強く感じました。分からないことも多い毎日ですが、優しく丁寧に指導してくださる先輩方の下、知識・技術を身につけ一人前の看護師になれるよう努力していきます。

小さな気付きを
大切に

徳島赤十字病院

看護師 加藤 麻優子



私は、徳島赤十字病院で研修看護師として、現在ICUで研修させていただいています。救急部門をローテーションすることで、重症患者様のケアや一般病棟では見ることがない医療機器の取り扱いについて学ぶことが出来ます。戸惑うことも多いですが、先輩看護師のサポートを受けながら、小さな異変も気付くことが出来るよう、注意深く観察することを心がけています。病院理念である「断らない医療の実践」に向けて、まだまだ未熟ですが、患者様に寄り添った看護を実践していきたいと思っています。

充実した日々

徳島県立中央病院

看護師 川人 柚珠



入職して約半年、学びの多い充実した日々を送っています。はじめは不安もあり「私が看護師でいいのかな」と悩むこともありましたが、優しく頼りになる先輩方からの励ましやご指導、患者様からの「ありがとう」の言葉が私を元気づけ、頑張ろうと思わせてくれました。まだまだ未熟ではありますが、患者様やご家族、スタッフから信頼される看護師になれるよう、思いやりの心と笑顔を大切に日々成長していきたいです。

充実した日々を！

徳島県鳴門病院

看護師 南條 航平



入職して早7カ月が経ちました。日々、看護の難しさや知識・技術の未熟さを感じながらも、先輩看護師、他職種、患者様の支えもあり充実した毎日を送ることができています。実際に看護師として働き始めたことで、1つ1つの行動に対して責任の重さを痛感しており、より命の大切さを感じるようになりました。

まだまだ未熟な点も多くありますが、早く先輩方のような一人前の看護師になれるよう1日1日を大切に過ごしていきたいです。

一患者の心に寄り添える看護師にー

独立行政法人
国立病院機構
東徳島医療センター

看護師 福井 優衣



看護師として働き始めて半年が過ぎた。先輩方の指導のもと様々な経験をさせていただき、学びの多い半年間だった。業務をこなすことに精一杯になりがちで、自分が目指すべき看護ができているのだろうかと思うことがあった。しかし、患者さんの笑顔に励まされ、また頑張ろうと元気づけられた。知識や技術を身につけるだけでなく、「看護とは何か」ということを心に問いかけながら、患者さんの心に寄り添える看護師を目指し、一歩ずつ前に進んでいきたいと思う。

思いやり

田岡病院

看護師 久保 祐香



日々の業務にも慣れ、仕事が楽しいと感じることが増えました。毎日患者さまと接する時には、忙しい中でも思いやりと笑顔を一番大切にし、安心感を与えられるよう心がけています。看護を提供する中で、患者さまから元気をもらう事も多く、やりがいがあります。とても素敵な仕事であると感じています。まだまだ未熟ではありますが、今後も学ぶ姿勢を忘れずにスキルアップしていきたいと考えています。

先輩ナースからの応援メッセージ

経験を通して学ぶ

東部保健福祉局
(徳島保健所)

保健師 小原 静香



私は保健所で精神保健の担当をしています。家庭訪問や電話相談、通報対応などを通して、精神障がいの方が地域で安心して生活できるよう支援しています。

今年は同じ担当に新人保健師の方が入職し、指導する立場となりました。私は、新人保健師の方には、積極的に色々な経験をしてほしいと思います。実際に訪問や通報対応に行くことで、机上では分からないこともたくさん学ぶことができます。

今後も新人保健師の方と共に経験を重ね、県民が安心して暮らせる地域づくりに努めていきたいと思っています。

プリセプターになり
思うこと

阿南共栄病院

看護師 英 実輝



私が新人の頃を振り返ると入職してから数か月間は、初めての環境・業務、生活の変化で毎日が緊張の連続でした。その時に私を気に留めて声をかけてくれた先輩やプリセプターが私の思いを聞いてくれる時間を作ってくれたことに感謝し勇気が湧いたことを覚えています。

新人さんには看護師の仕事を好きになり、職場に来るのが楽しくなるように感じてもらいたいと思い関わっています。一緒に成長できる貴重な機会をいただき、心の拠り所となる存在になりたいと思っています。

実施指導者として

吉野川医療センター

看護師 杉本 美佐子



実施指導者となり3年目となりました。毎年やる気いっぱいの新人看護師からパワーをもらっています。入職時は戸惑いや緊張がみられる新人看護師も、ひとつひとつ出来る事が増え、1年経つと立派に成長できています。任せられる仕事も増え、指導者としてうれしく感じます。

今後も新人教育に積極的に関わり、当院の看護部理念でもある安全で満足できる看護の提供を目指し、共に成長していきたいと思っています。

看護職のワークライフバランス(WLB)推進

平成 29 年
9/24

ワークショップ開催

勤務環境改善推進委員会

今年度のWLB推進ワークショップ事業に、伊月病院・川島病院・博愛記念病院・訪問看護ステーション阿南が取り組まれています。

まずワークショップ開催までに、各施設の勤務環境の現状を把握するためのインデックス調査、そして労務管理（出前講座）研修会を経て、ワークショップに参加しました。

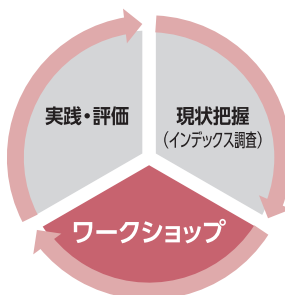
1日かけて、調査データの確認から課題抽出・アクションプランの作成に繋がりました。施設の推進者から「取り組む方向性や、強み・弱みがよく解った。有意義な時間だった」「支援者の体験からの説明がわかりやすかった」の声がありました。

これから、アクションプランを完成し実践に進みます。その過程（アクションプランの支援・進捗状況）をサポートしていきます。

この取り組みは、平成30年2月3日WLB推進フォローアップワークショップで報告しますので、是非ご参加いただき、貴施設の参考にしてください。



参加者 46 名



討議【何のために取り組むか】



KJ 法による分析【課題の抽出】

報告

第35回徳島県看護学会

看護会館

第35回徳島県看護学会が開催されました

第35回徳島県看護学会が12月2日（土）に看護会館で開催され、参加者は283名でした。初めに、多田会長より挨拶があり、その後、口演発表17演題、示説発表7演題の発表が行われました。

特別講演は、公益社団法人日本看護協会教育研修部継続教育課の松原由季先生にお願いし、「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）～現状と今後の活用～について」をご講演いただきました。

今年度は、半日ですべてのプログラムを終えたことや、優秀作品を表彰し、記念品の贈呈をするなど新たな取り組みも増え好評価を得ました。

優秀賞「コンサルテーションにおいて認定看護師が体験している困難感」

徳島大学病院 三木幸代 尾形美子 一宮由貴

特別賞「アスペルガー症候群患児の骨形成不全治療に対する不安軽減の関わり」

徳島赤十字ひのみね総合療育センター 北島結佳 小山妙子 渡部尚美

平成30年は、7月19日（木）20日（金）にあわぎんホールにて、日本看護学会一精神看護一学術集会を開催のため、県学会はお休みです。

日本看護学会一精神看護一学術集会への演題投稿に是非ご協力をお願いいたします。





ナースセンターだより

(平成28.10.1～平成29.9.30)

☆看護職届出制度

届出者のうち、eナースセンター登録・応募・就職状況

届出・eナースセンター登録・応募・就職	全 国		徳島県	
	総 計	割 合	総 計	割 合
届出数	58,246		507	
うちeナースセンター登録者数	23,318	40.0%	234	46.2%
うち求人施設への応募者数(紹介数)	5,330	9.2%	84	16.6%
うち就職者数	4,529	7.8%	83	16.4%

☆復職研修

未就業の看護職の方を対象に、看護の現場への復帰に向けて、最新の看護に関する知識・技術を習得する研修会を開催

(平成29年9月～平成30年1月：講義・看護技術演習)

より身近な地域で受講しやすいよう、東部・西部・南部圏域の3会場で開催しています。

43人受講で就業者6人(H29、12月現在)

現場に
戻れそう!



☆就職ガイダンス

看護職の求職者や看護学生が看護職を必要とする施設を見学し、施設の概要や業務内容等を知ることにより、就職意欲を高めてもらうガイダンスを開催。

求人施設も現場で求職者に施設を紹介することで、メリットがたくさんあります!



徳島県ナースセンター出前就職ガイダンス2017

本年度も南部・西部圏域で開催しました。

南部：参加者24人

参加施設：杜のホスピタル ロイヤルケアセンター バイエルン 訪問看護ST阿南 海部病院 徳島赤十字ひのみね総合療育センター 徳島赤十字乳児院 小松島病院 江藤病院 岩城クリニック (実施順)

西部：参加者11人

参加施設：鴨島病院 三加茂田中病院 三野田中病院 成田病院 蓬萊荘 シェーンブルン ホウエツ病院 吉野川医療センター 美摩病院 (実施順)

オープンホスピタル2017

本年度は、10月から1月までの4ヶ月間に15施設で実施予定

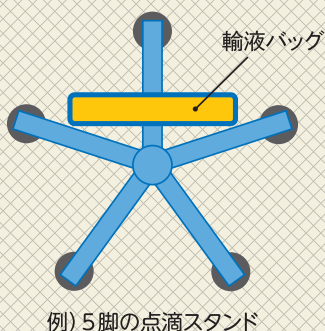
●参加施設《開催・開催予定順》

芳川病院 博愛記念病院 田岡病院 吉野川病院 東洋病院 小川病院 藍里病院 協立病院 亀井病院 稲次整形外科病院 手束病院 TAOKAこころの医療センター リハビリテーション大神子病院 きたじま田岡病院 城南病院

参加者18人 就業者3人(H29、12月現在)

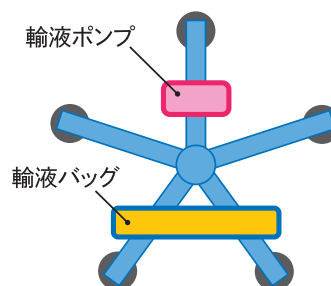
輸液スタンドの輸液バッグ・ポンプの固定位置は…

〈点滴スタンドを上からみた図〉



例) 5脚の点滴スタンド

■ 輸液ポンプを使用される場合は…



〈点滴スタンドを上からみた図〉

輸液ポンプは高い位置に取り付けると重心が高くなり転倒しやすくなるので注意を要します。また、スタンドの脚と同じ方向で取り付けると転倒しにくくなります。



火災や風水害等に遭われたとき

次の区分により見舞金が支給されます。

区 分	被災の程度	見舞金の額
火災の場合	家屋全焼	30,000 円以内
	家屋半焼	20,000 円以内
風水害及び震災の場合	家屋全壊	30,000 円以内
	家屋半壊	20,000 円以内
	家屋傾斜、床上浸水	10,000 円以内

※詳細については、公益社団法人徳島県看護協会例規集をご参照ください。

ご存知
ですか??



事務局からのお知らせ

新規事業のご案内



① AWAナースサポートセンター事業

11月23日(木) AWAナースの登録対象である退職後の看護職及び退職間近の看護職の方と、退職後の看護職の活用を希望する施設代表者の方が一同に集まりAWAナースサポートセンター事業キックオフ会を開催しました。

はじめに、大分県看護協会の河野氏から、昨年度から実施している「プラチナナース生き生きプロジェクト」の取り組みについて紹介があり、定年退職等看護職は多様な働き方によって、在宅分野の施設に就職して生き生き活躍しているとの報告がありました。また、中小病院から求める人材の報告のあと、事業促進に繋がる意見交換が行われました。

参加者からは、AWAナースの活動を地域の医療現場等のケアの質向上に繋がりたいとの声が聞かれました。今後も、徳島県看護協会は、AWAナースの生涯活躍を支援します。



AWAナースキックオフ会

② 訪問看護全県展開応援事業

11月25日(土) 西祖谷にて「フォーラム2017 in 西祖谷」を開催しました。基調講演では、生涯現役応援隊、理事長川野公江氏から、神山町における「住民主体の通いの場(サロン)の実践」について紹介があり、その後医療の現場から、西祖谷山村・東祖谷診療所所長の木下 大氏及び訪問看護ステーション半田管理者久保敬子氏の発表のあと、地域の住民等の方と「地域で暮らし続けたい人のためにみんなができること」について意見交換が行われました。



訪問看護全県展開応援事業フォーラム2017 in 西祖谷

平成30年度の継続について

◆継続のお知らせは届いていますか？

会員情報・口座情報に変更のある方は、変更届をご提出ください。

変更のない方は、提出不要です。

◆会費引き落とし期日が迫っております。指定口座の残高にお気を付けください。

◆新規入会・再加入等につきましては、書類をお送りいたしますので、徳島県看護協会までご請求ください。



編集後記

皆様明けましておめでとうございます。昨年も協会ニュース「和」の発行にあたりご協力いただきありがとうございました。今年もより良い内容に努めて参ります、ご協力よろしく願いいたします。